

令和 6 年度実施 朝霞市男女平等に関する小学生・中学生・高校生意識調査 結果報告書《概要版》

調査の目的

この調査は、「第3次朝霞市男女平等推進行動計画」(令和8(2026)年度から令和 17(2035)年度までの計画)の策定や、今後の取組に向けた重要な基礎資料とするために実施したものです。

調査の概要

■調査対象： 朝霞市内の小学6年生 1,273人、朝霞市内の中学3年生 1,087人、朝霞市内の高校3年生 720人

■調査方法： Web による回答

■調査期間： 令和6年9月18日(水)～10月2日(水)

■回収結果

学 年	小学6年生	中学3年生	高校3年生
対象児童・生徒数	1,273人	1,087人	720人
回収件数	573 件	196 件	219 件
有効回収率	45.0%	18.0%	30.4%

・図表中の(n=*)は集計母数を表しています。

・回答の比率(%)は、各設問の回答者数を母数として算出しているため、複数回答の設問については、選択肢ごとの比率を合計すると 100%を超えることがあります。

・回答の比率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、属性ごとの回答比率の合計が 100%にならないことがあります。

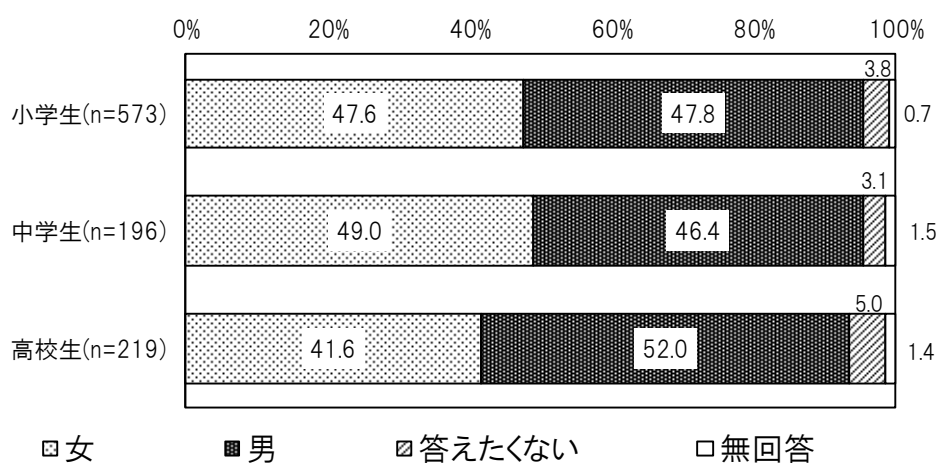
・回答傾向の記述にあたり、同様の傾向の回答をまとめて割合を示すために、【 】で表現する場合があります。

回答者の属性

○小学生は「女」が 47.6%、「男」が 47.8%、「答えたくない」が 3.8%、無回答が 0.7%となっています。

○中学生は「女」が 49.0%、「男」が 46.4%、「答えたくない」が 3.1%、無回答が 1.5%となっています。

○高校生は「女」が 41.6%、「男」が 52.0%、「答えたくない」が 5.0%、無回答が 1.4%となっています。

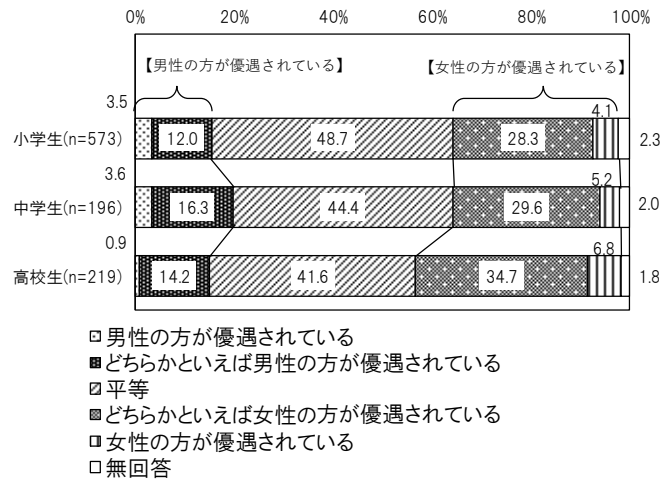


男女の平等について

男女の平等について

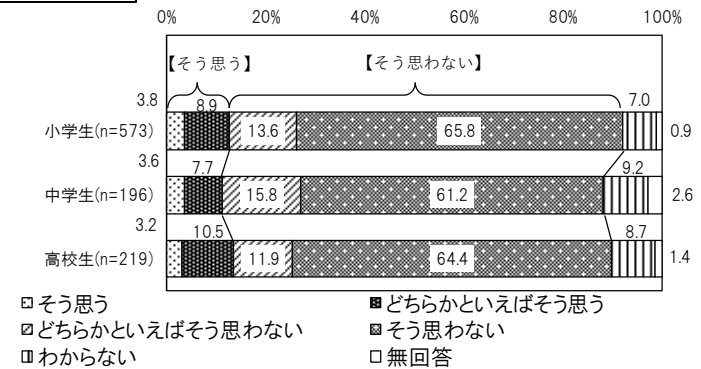
○小学生、中学生、高校生ともに「平等」の割合が最も高く、いずれも4割以上を占めています。

○「男性の方が優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の合計【男性の方が優遇されている】と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が優遇されている」の合計【女性の方が優遇されている】を比較すると、小学生、中学生、高校生ともに【女性の方が優遇されている】という割合の方が高い結果となっています。



「男は仕事に専念して、女は家庭を守るべき」という考え方について

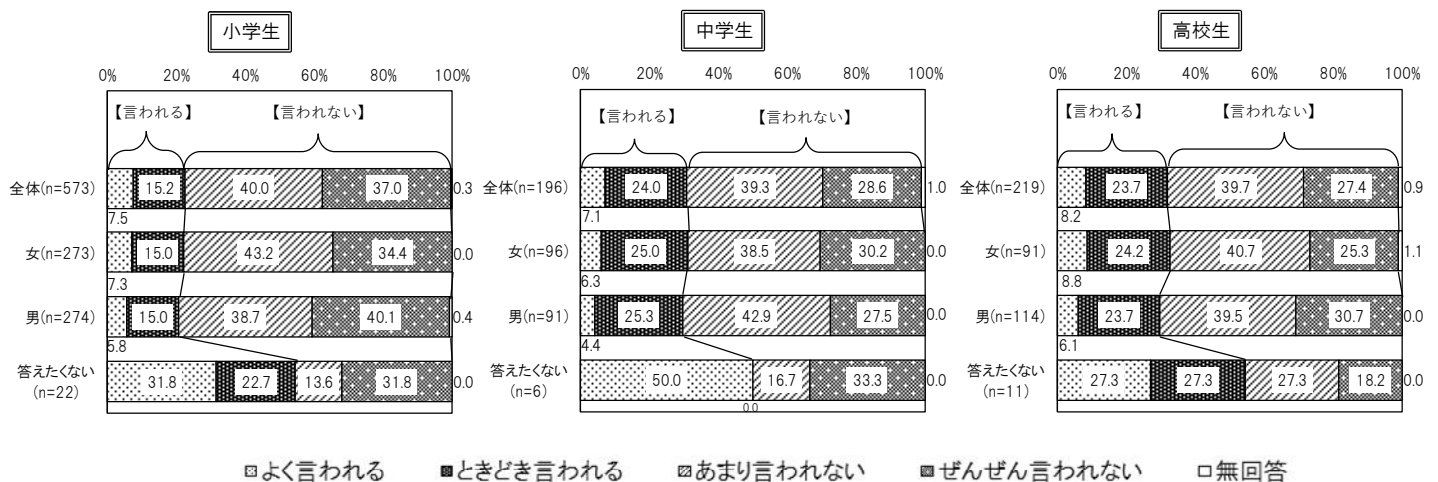
○小学生、中学生、高校生ともに、「そう思う」「どちらかというと思う」の合計である【そう思う】は1割強、「どちらかというと思う」「そう思わない」の合計である【そう思わない】は8割近くを占めています。



男らしさ・女らしさを押し付けられた経験

○「男だから〇〇しなさい」や「女だから〇〇しなさい」と言われた経験は、小学生、中学生、高校生とも、全体では「よく言われる」と「ときどき言われる」の合計【言われる】よりも「あまり言われないう」と「ぜんぜん言われないう」の合計【言われないう】割合の方が高くなっています。また、性別でみると、女子、男子とも同様に【言われる】よりも【言われないう】割合の方が高くなっています。

○しかしながら、性別について「答えたくない」と回答した人については、【言われる】割合が女子、男子よりもはるかに高く、小学生と高校生では【言われないう】よりも【言われる】方が高くなっています。



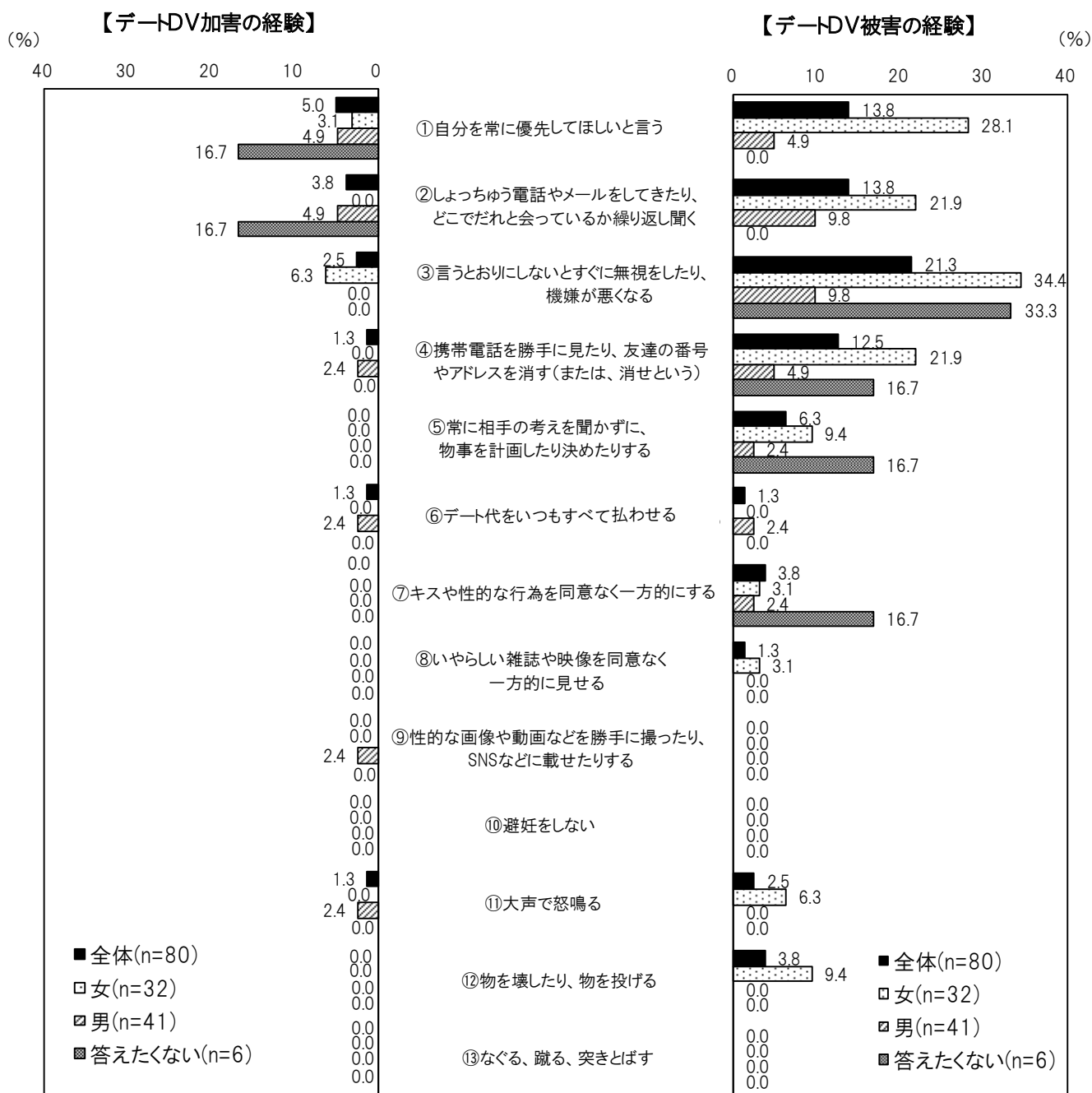
デートDVについて

デートDV被害と加害の経験

○高校生意識調査において、恋人(交際相手)がいる人を対象にデートDV加害経験と被害経験についてたずねました。

○デートDV被害にあった経験のうち、割合が最も高いのは「③言うとおりにしないとすぐに無視をしたり、機嫌が悪くなる」(21.3%)、次いで「①自分を常に優先してほしいと言う」と「②しょっちゅう電話やメールをしてきたり、どこでだれと会っているか繰り返し聞く」(ともに13.8%)、「④携帯電話を勝手に見たり、友達の番号やアドレスを消す(または、消せという)」(12.5%)が上位となっています。

○デートDV加害については、いずれの項目も1割に達していない割合となっています。



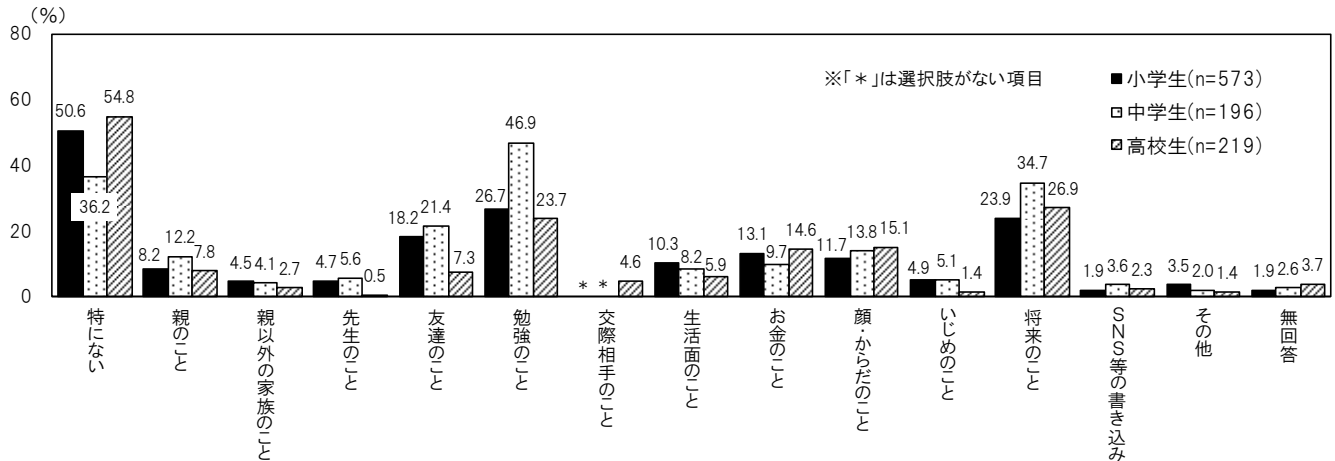
悩みや心配事について

悩みや心配事

○小学生、高校生は「特にない」とする回答が5割以上となっています。

○具体的な悩みや心配事の内容の上位項目は、小学生と中学生の傾向はほぼ同様で、いずれも「勉強のこと」「将来のこと」「友達のこと」の順に高い割合となっています。

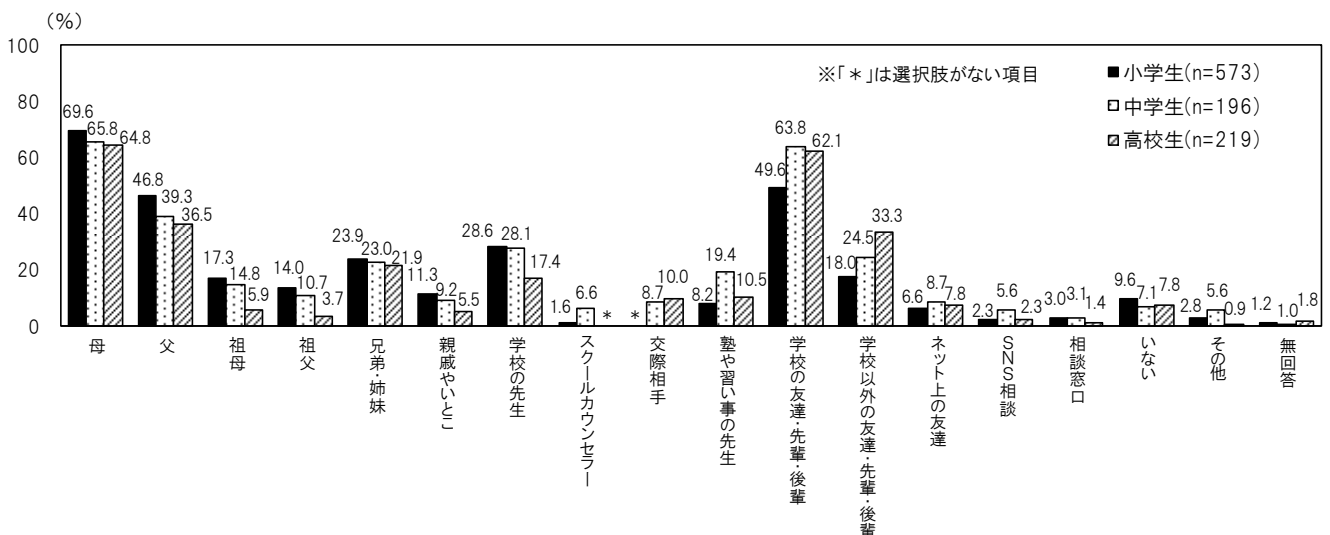
○高校生については、「将来のこと」(26.9%)が最も高く、次いで「勉強のこと」(23.7%)、「顔・からだのこと」(15.1%)の順になっています。



悩みや心配事がある時の相談先

○小学生、中学生、高校生ともに傾向はほぼ同様で、「母」「学校の友達・先輩・後輩」「父」の順に回答が多くなっています。

○「母」「父」「祖母」「祖父」などの親族は、学年が上がると割合が低くなっていきますが、「学校の友達・先輩・後輩」や「学校以外の友達・先輩・後輩」は中学生以上になると割合が高くなっています。



令和6年度実施朝霞市男女平等に関する小学生・中学生・高意思識調査結果報告書《概要版》 令和7年7月

発行 朝霞市女性センター(それいゆぷらざ)

〒351-0016 埼玉県朝霞市青葉台1-7-1

TEL 048-463-2697

FAX 048-463-0524